

ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (HFSP) 2006年度審査結果について

国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構 (HFSP O) (本部: 仏ストラスブール) は、2006年度の助成プログラムの審査結果を発表した。助成プログラムは大別して研究グラント制度とフェローシップ制度の2つがあり、研究グラントには749チームの応募があり、32チーム (プログラムグラント20、若手研究者グラント12) が採択された。そのうち、日本人研究者が9名 (プログラムグラント4名 (研究代表者2名)、若手研究者グラント5名 (研究代表者3名)) 採択された (183名応募)。

長期フェローシップについては、629名の応募に対して83名が採択された。そのうち、日本人研究者は14名が採択された (98名応募)。

2005年度から開始された生命科学分野以外の物理、化学、数学、工学等の若手研究者に生命科学分野の研究機会を与える学際的フェローシップについては、55名の応募に対して10名が採用された。残念ながら日本人研究者の採択はなかった (1名応募)。

そして、母国に戻って研究を続けるフェローに対して提供されるキャリア・デベロップメント・アワードとして51名の応募に対して29名が採択された。そのうち、日本人研究者は4名が採択された (6名応募)。

(採択者リストについてはHFSP Oホームページ <http://www.hfsp.org> 参照)

(参考) 日本人研究者の参加する研究グラントのテーマ一覧

<プログラムグラント: 4名採択 (研究代表者2名)>

新村信雄 茨城大学大学院理工学研究科教授

New Methods of Bio-molecular Crystal Structure Determination Specific to Neutron Diffraction Data
(中性子回折データ特有の生体分子結晶構造決定における新手法)

石浦章一 東京大学大学院総合文化研究科教授 (研究代表者)

Intracellular protease signaling induced by homopolymeric amino acids (HPAA)
(ホモポリアミノ酸 (HPAA) によって誘起される細胞内プロテアーゼのシグナリング)

伊藤啓 東京大学分子細胞生物学研究所助教授 (研究代表者)

Analysis of motion processing pathways and free flight control in wildtype and transgenic Drosophila
(野生型ショウジョウバエとトランスジェニックショウジョウバエにおける運動処理経路と自由飛行管理の分析)

尾藤晴彦 東京大学大学院医学系研究科助教授

SYNAPTIC TAGGING AND CAPTURE: Functions, models and mechanisms
(シナプティック・タギングと捕捉: 機能、モデル、およびメカニズム)

< 若手研究者グラント: 5名 (研究代表者 3名) >

深田正紀 国立長寿医療センター研究所遺伝子蛋白質解析室省令室長 (研究代表者)

Molecular mechanism for dynamic protein palmitoylation

(動的タンパク質パルミトイル化における分子メカニズム)

吉川雅英 テキサス大学サウスウエスタンメディカルセンター助教授 (研究代表者)

Kinesin motors under load applied by “nano-springs”

(「ナノスプリング」による負荷下でのキネシンモーター (と同一チーム))

富重道雄 東京大学・大学院工学系研究科助教授

Kinesin motors under load applied by “nano-springs”

「ナノスプリング」による負荷下におけるキネシンモーター (と同一チーム)

松浪宏明 デューク大学メディカルセンター助教授 (研究代表者)

Function of a Specialized Olfactory System in Mammals

哺乳動物における特殊な嗅覚システム機能

平瀬肇 理化学研究所脳科学総合研究センター神経回路メカニズム研究グループユニットリーダー

Organization and function of neuronal networks in the sensory cortex

感覚皮質における神経ネットワークの組織と機能

< その他 :日本国籍ではないが日本の研究所所属のグラント受賞者 >

SEMYANOV Alexey (ロシア)

理化学研究所脳科学総合研究センター神経回路メカニズム研究グループユニットリーダー

Glia and extrasynaptic communication in the brain

脳内におけるグリア細胞とシナプス外情報伝達